

萩市見島・溜池調査に伴い観察された淡水産貝類 (予報)

増野 和幸¹⁾

1 はじめに

見島は萩市から約 45km 沖合の日本海に浮かぶ火山岩性の孤島である。南北 4.58km、東西 3.49km、周囲 9.65km、面積 7.73km²で、ほぼ三角形でそれは北方を向いた牛のような形に見える。島の最高部は 181m あり島全体は丘陵地を形成している。平地は農耕に利用され、森林はすべて二次林であり、海岸に沿って小樹林がある。東部の日崎と南部の要害山一帯に発達した森林が見られる (日野, 1963)。

今回、島南部・本村地域に広がる水田地帯で、八丁八反に点在する溜池の築造年代等を調べる「八丁八反プロジェクト」の予備調査が実施された (実施主体:「見島と共に生きる会」)。実施日は、2020 年 11 月 3 日 (火)。対象となった溜池は、詳細な規模等は省略するが、概ね縦 5.9m、横 3.5m、深さ 1.5m で石垣の石材は玄武岩。本報告は今回の調査の際、溜池で確認された淡水産貝類である。

見島には、地元出身の貝類研究者である多田武一 (1899~1986) が存在し、貝類に関する知見は氏によるところが大きい。多田は昭和初期、沖縄に渡り南方の島々で陸貝や海産貝を採集した。見島に帰ってからは島内の林や海に生息する貝を調査し目録を編纂したり、見島固有の新種を発見したりしている (池田・多田, 1963; 多田, 1964; 萩市郷土博物館, 1988)。見島における淡水産貝類の記録は、多田目録 (1964) の中の 7 種が最初である。後年、ヒラマキガイモドキとトウキョウヒラマキガイの 2 種を追加記述している (多田氏所蔵目録に加筆、福田・福田, 1995)。また、増野 (1989) は 7 種の報告をしている。

2 概 要

調査の結果、6 科 8 種を確認した。生息個体のうち最も優占した種は、大型の巻き貝であるマルタニシ *Cipangopaludina cf. laeta* (Martens) で、幼貝も含め多くが観察され、旺盛な繁殖状況がうかがえる。また、微小種では、ヒラマキミズマイマイ *Gyraulus spirillus* (Gould) が多数見られた。その中にトウキョウヒラマキガイ *Gyraulus tokyoensis* (Mori) も混生していた。水草に絡まるようにハブタエモノアラガイ *Pseudosuccinea columella* (Say)、ヒラマキガイモドキ *Polypylis hemisphaerula* (Benson in Cantor)、サカマキガイ *Physella acuta* Draparnand 等が観察されたが、個体数は少なかった。底泥の中に個体数は極めて少なかったが、ドブシジミ *Musculium japonicum* Westerlund、カワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould) が見られた。

島内の大堤にはタニシ類のオオタニシ *Heterogen japonica* (Martens) も同所的に確認されている (杉村, 1992 筆者宛て私信) が、調査した溜池では 1 個体も確認できなかった。池の近くを流れる用水路には多数のカワニナが生息するが、意外にも溜池内には少なかった。今回確認した種の中で、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイの 2 種は、山口県外来種リスト (2018, 山口県自然保護課) に掲載された外来種である。

1) MASHINO, Kazuyuki 〒750-0441 下関市豊田町大字中村 503 下関市立豊田ホテルの里ミュージアム

生息するカワニナの雌の体内から、胎児殻（幼貝）を多数採取したが、秋から春にかけての時期でも幼貝をもっていた。見島のカワニナの胎児殻は、過去に観察した（増野・他、2001）時点でも気付いていたが、他地域の幼貝には地域により差があるが殻表面に肋が見られたり、殻の周縁が鋭角になる傾向がある。見島産には図版 2b に見られるように、殻表面はきわめて滑らかで、周縁も丸くなっていた。

モノアラガイに関して、多田（1964）が記録した個体を実見していないが、中村（1994、筆者宛て私信）の個体も含め、モノアラガイの仲間は、近年外来種が混入している可能性が指摘されており（川瀬、2018）、島内全域の再調査と種同定の再確認の必要を感じた。

淡水産貝類は、山口県自然保護課が中心となって作成している「RDB やまぐち」においても、生息環境が溜池やダム湖、用水路等、通常は満水状態で調査が容易に行えないという環境であり、生息の実態把握を十分に行うことができにくい。こうした状況下での、絶滅危惧対象種の指定となっている。かつては農業用水として使用され、生活環の中に密着していた溜池等が、今日ではあまり注目されない時代となっている。河川だけでなく、溜池や用水路の改修工事等、排水等を行う機会に生物調査を行う機会が得られると良い。是非情報をいただきたいと切望している。

3 見島産淡水産貝類記録リスト（※今回の記録は太枠で示す。）

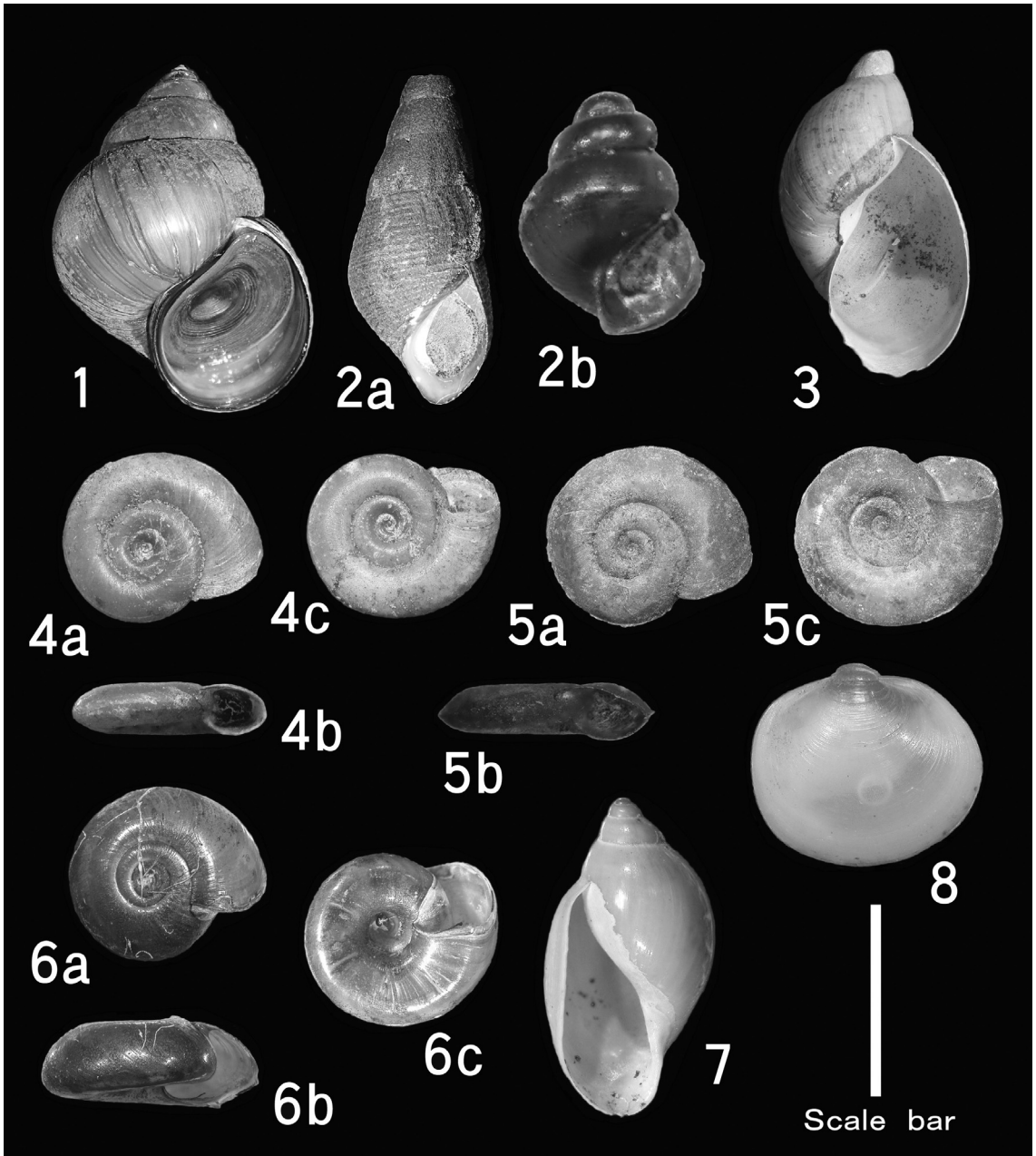
科・種名	学名	記 録				
		増野(2020)	多田(1964)	増野(1989)	杉村(1992)	中村(1994)
タニシ科						
マルタニシ	<i>Cipangopaludina cf. laeta</i> (Martens)	○(6)	○	○		
オオタニシ	<i>Heterogen japonica</i> (Martens)		○	○	○	
カワニナ科						
カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i> (Gould)	○(15)	○	○		
チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i> (Brot)		○			
モノアラガイ科						
モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i> (Linnaeus)		○	○		○
ヒメモノアラガイ	<i>Orientogalba ollula</i> (Gould)		○	○		
ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i> (Say)	○(2)				
ヒラマキガイ科						
ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus spirillus</i> (Gould)	○(21)	○	○		
トウキョウヒラマキガイ	<i>Gyraulus tokyoensis</i> (Mori)	○(11)	○*			
ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i> (Benson in Cantor)	○(1)	○*			
サカマキガイ科						
サカマキガイ	<i>Physella acuta</i> (Draparnand)	○(1)		○		
シジミ科						
マシジミ	<i>Corbicula fluminea</i> (O. F. Müller)		○			
ドブシジミガイ科						
ドブシジミ	<i>Musculium japonicum</i> (Westerlund)	○(1)	○			

()内は個体数 * : 追加記載

4 謝 辞

今回の予備調査をまとめるに当たり、天賀保義氏（見島と共に生きる会会長）、樋口尚樹氏（松陰神社宝物殿至誠館館長）には調査実施に大変お世話になりました。また、故中村康博氏（宇部市）、杉村智幸氏（現 山口市立平川小学校）には、採集記録の提供を受けました。記してお礼を申し上げます。

【図版】



図版説明

1. マルタニシ (Scale bar : 25.4 mm) ; 2a. カワニナ (S.b. : 11.9 mm) ; 2b. カワニナ (胎児殻) (S.b. : 0.9 mm) ; 3. ハブタエモノアラガイ (S.b. : 4.8 mm) ; 4a-c. ヒラマキミズマイマイ (S.b. : 6.7 mm) ; 5a-c. トウキョウヒラマキガイ (S.b. : 6.4 mm) ; 6a-c. ヒラマキガイモドキ (S.b. : 6.0 mm) ; 7. サカマキガイ (S.b. : 3.7 mm) ; 8. ドブシジミ (S.b. : 6.2 mm).

5 参考文献

- 福田 宏・福田敏一 (1995) 山口市・阿知須町で得られてた注目すべき淡水生貝類. 山口県の自然, 55 : 21-26. 山口県立山口博物館.
- 萩市郷土博物館 (1988) 多田武一氏寄贈貝類資料目録. 84pp., 萩市.
- 日野 巖 (1963) 見島の陸棲生物相の特異性. 山口県の自然, 10 : 1-3. 山口県立山口博物館.
- 池田美成・多田武一 (1963) 山口県北部地方貝類目録, 70pp. 萩市郷土博物館.
- 河上 勲・増野和幸・下瀬信雄・吉屋安隆・樋口尚樹・清水満幸 (1990) カタツムリの不思議－萩地方の陸産貝－. 2+ 85pp. +2pls. +1map., 萩市郷土博物館.
- 川瀬基弘 (2018) 名古屋市内から絶滅したモノアラガイ *Radix auricularia japonica* Jay, 1857. なごやの生物多様性, 5 : 27-31.
- 増野和幸 (1989) 萩市見島の非海産貝類. 山口生物, 16 : 3-7.
- 増野和幸・藤原雅幸・吉富 翔 (2001) 山口県萩市に生息するカワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould, 1859) の種内変異. 萩市郷土博物館研究報告, 11 : 6-13.
- 多田武一 (1964) 見島産貝類目録. 見島学術調査報告, 38pp., 山口県教育委員会.